

【別紙】緩和措置により現場代理人の兼任が可能となるパターン

A. 市発注工事のみの場合

- ①災害復旧工事等を1件以上含む
- ②災害復旧工事等を含む場合であっても、通常の工事は3件以内

③最大10件まで兼任可能

(例1)市災害復旧工事等10件

市災害	市災害	市災害	市災害	市災害	市災害	市災害	市災害	市災害	市災害
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(例2)市通常工事3件、市災害復旧工事等7件

市通常	市通常	市通常	市災害	市災害	市災害	市災害	市災害	市災害	市災害
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

B. 市発注工事以外を含む場合

- ①災害復旧工事等を1件以上含む
- ②災害復旧工事等を含む場合であっても、通常の工事は3件以内
- ③市以外の発注機関(愛媛県及び近隣他市町等)が兼任可能な件数以内

※現時点で、愛媛県及び近隣他市町では現場代理人1人に対しての工事件数は5件まで

④最大10件まで兼任可能

(例1)市通常工事1件、市災害復旧工事等2件、市発注工事以外(通常)1件、市発注工事以外(災害)1件

市通常	市災害	市災害	【市以外:通】	【市以外:災】
-----	-----	-----	---------	---------

(例2)市災害復旧工事等2件、市発注工事以外(通常)3件

市災害	市災害	【市以外:通】	【市以外:通】	【市以外:通】
-----	-----	---------	---------	---------

(例3)市災害復旧工事等2件、市発注工事以外(災害)3件

市災害	市災害	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】
-----	-----	---------	---------	---------

◆市災害復旧工事等及び市発注工事以外(災害)の兼任件数が6件以上◆

市災害	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】				
市災害	市災害	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】			
市災害	市災害	市災害	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】		
市災害	市災害	市災害	市災害	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	
市災害	市災害	市災害	市災害	市災害	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】	【市以外:災】

◆市以外の発注機関の兼任可能な件数によっては、兼任不可となる可能性がある。
また、市以外の工事と兼任する場合には、兼任件数以外の要件が異なる場合があるため、事前に当該発注機関に確認しておくこと。

ただし、下記の3つの要件をすべて満たす場合に限る。(A・B共通)

- ①兼任する工事の各現場間が最短で60分以内に移動できる距離(一つの工事に現場が複数ある場合も同様)にあるか、全ての現場が南予地方局管内にあること。
- ②低入札価格調査制度対象工事において、低入札調査の対象となった工事でないこと。
- ③あらかじめ入札公告、仕様書等により兼任不可となっていない工事であること。

◀ 凡例 ▶

市通常工事	市災害復旧工事等	市発注工事以外(通常)	市発注工事以外(災害)
【市通常】	【市災害】	【市以外:通】	【市以外:災】